

事業名	ながさき女性活躍アクティブプラン
事業の趣旨・目的	<p>企業における女性活躍・家庭と社会生活の両立 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定やイクボスの養成などの実行支援、管理職登用のための女性の人材育成支援等により、企業における女性の活躍を推進するとともに、家庭と社会生活の両立を促進する。</p>
事業内容	<p>ミドルマネジメント講座・受講者ネットワーク構築 県内企業の女性管理職の登用促進を図るため、管理職として必要となる基本的な考え方や部下の育成方法などを学ぶ人材研修を行い、女性社員の意識の向上とスキルアップを支援する。なお、平成30年度まで1地区あたり5日間の日程で実施していたが、企業のニーズを踏まえ、令和元年度からは2日間の講座を設定。 また、講座受講者や講師のロールモデル等のネットワークを構築し、同じような立場の悩みを共有する場、相互研鑽の場、研修結果発表(情報交換)の場として、受講者の交流会を開催予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止のため開催せず。</p> <p>イクボス推進事業 企業の管理職層を対象に、イクボスになることのメリット、時間等に制約のある部下でも成果を出せるマネジメント手法等、具体的な取組方法を紹介し、イクボス宣言を推奨する「イクボス養成セミナー」を開催した。</p> <p>家庭と社会生活の両立促進事業 男女がともに家庭と社会生活を両立できる環境を整えるため、職場の理解や家事・育児等のシェア(共有化)を促進するため、(A)職場の理解促進や男性の家事・育児等への参画促進に関する機運の醸成・啓発、(B)次世代(大学生)を対象に、モデル世帯の人生設計を活用して、女性のキャリア形成や継続就業等に関する意識啓発を実施した。</p>
事業効果及び効果検証の概要	<p>女性の管理職登用を促進するためには、経営者の意識改革とともに、女性社員の意識改革も必要である。ミドルマネジメント講座の受講者アンケートにおいて、約9割が「受講したことで管理職になることに前向きになった」と回答しており、登用促進に向けた女性社員の意識改革を一定図ることができた。</p> <p>女性活躍促進のためには、経営者や管理職層の意識改革が必要である。イクボス養成講座の受講者アンケートにおいて、約7割が「イクボスは重要である」と回答しており、管理職層の意識改革を一定図ることができた。</p> <p>パパ検定動画及びパパ検定シートについては、完成後、令和元年度に制作したイクボス推進動画とともに県下全域で広報展開するとともに、大学生を対象とした前述のセミナーや、各市町や企業等が行うセミナー等において実践的な活用を行った。SNSを中心に話題となり、メディアでも取り上げられ、男性の家事・育児等への参画促進に関する機運の醸成・啓発に大きく寄与した。また、キャリアライフデザインセミナーを開催後に参加者アンケートを実施したところ、回答者のほとんどが「今回の講義を受けて、パートナー同士(夫婦など)が理解し合い、家事や育児等をシェアするなど、協力して行ったほうが良いと思った」と回答しており、今後、女性のキャリア形成や家庭と社会生活の両立に向けた家庭内役割分担の促進が期待される。</p>
目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>【目標】ミドルマネジメント講座受講者数(年間)(アウトプット)90人【実績】72人 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標の受講者数は達成できなかった。しかし、過去の受講企業が別の女性社員を参加させるなど、当講座の必要性・有効性が浸透しつつある。県下全域でこれまで以上に周知に努めるとともに、女性登用促進のための人材育成を継続することが重要である。</p> <p>【目標】イクボスセミナー受講者数(アウトプット)50人【実績】21人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での参加者を限定し、オンラインを併用する形式で実施したが、目標の受講者数は達成できなかった。しかし、企業・大学など幅広い事業所の受講者が「イクボス宣言」を行うことで、イクボスとして主体的にワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む意欲の向上を図ることが出来た。実行を伴う管理職の意識改革のためには、県下全域において継続的にイクボス養成に取り組み、機運の醸成を図ることが重要である。</p> <p>【目標】啓発動画コンテンツの制作数(本)(累計)(アウトプット)1本【実績】1本 NPO法人ファザーリングジャパンとの連携により、啓発動画等の内容を充実させることができ、家族との時間について考えるためのコンテンツとなった。また、話題性からメディア等での広報につながった。今後はさらに各市町や関係団体等で行うセミナー等での活用につなげていく必要がある。</p>
今後の課題	<p>中小企業等においては長期にわたる研修への職員派遣が困難な状況があり、当講座の必要性・有効性の周知に受講者派遣元事業所から協力を得るなど、より効果的な事業運営が必要である。</p> <p>県内事業所の経営者・管理職層においては、女性活躍推進に自らが主体的に取り組む必要性についての理解浸透がまだ不十分であるため、「イクボス」の必要性についての理解を県下全域に浸透させるため、県内自治体とさらに連携を図り、効果的な事業運営が必要である。</p> <p>県内事業所の経営者・管理職層及びその従業員の働き方や、男性の家事・育児等への参画を促進していくため、県内自治体や協力団体・企業等とさらに連携を図り、作成したツールを活用しながら県下全域での機運を高めていくことが必要である。また、学生がライフデザインについて考え、女性のキャリア形成や継続就業等に関する意識啓発を啓発を継続して行っていく必要がある。</p>